



照屋 仁士 議員

行政のムリ・ムダを徹底的になくせ

答 さらなる効率化や見直しを行う

問 行政のムリ・ムダを徹底的になくすべきではないか。

副町長 さらなる効率化や見直しを行う。

問 第三次南風原町行政改革大綱の進捗はどのように検証され、公開されるのか。

企画財政課長 各課で取組状況等を検証し、行政改革推進委員会に報告する。意見・提言を踏まえ公開の予定である。

問 無駄な業務を洗い出し、効率化や廃止も検討すべきである。事業をスクラップしなければ、新しい事業もできないのではないか。

総務部長 この事業は終わりとはいえない。行事やイベントは、ニーズや時代に即して変化させていく必要がある。実施計画、予算で削ることも検討する。新たな展開等も含めて体制づくりに努める。

問 1班1見直し運動を進める考えはないか。熊本市に隣接する菊陽町(きくよう)で、143件の見直しが実施された。約750時間の削減効果が検証されている。事務の効率化を町民の目に見えるかたちで実施する必要はないか。

総務部長 他町村の事例を参考にし、事務改善に努めていきたい。

職員増でサービス増を

問 南風原町総合計画の上下半期5年ごとの推移を確認した。職員数、臨時・嘱託職員数、特別会計を含む予算、人口は表①になる。予算は5年ごとに大きな伸びである。人口も伸びている。職員は増えていないがどう考えるか。

総務部長 全体的な人員のあり方も検討していきたい。

表① 第4次総合計画の上下半期5年ごとの推移

年度 (各4月1日現在)	H19	H24	H27
①職員数	199人	195人	199人
②臨時+嘱託員	153人	263人	324人
③予算(特会含)	約149億	約174億	約211億
④人口	33,710人	35,656人	36,989人

問 職員よりも臨時・嘱託が多い、業務が多いからそうなる。臨時・嘱託は、期間労働で低賃金、生活も安定しない。非常に心配である。人を増やさないとサービスは増やせない。職員を増やすことが重要だと提言したい。

総務部長 職員の確保、臨時・嘱託の採用のあり方、民間委託等、トータルでこの時代を乗り切っていく必要がある。